

【抄録】

昨今、CAD/CAM や IOS の普及により歯科技工士の業務内容は大きく様変わりしてきています。

また「働き方改革」により企業側と労働者の双方が共通認識の下、より一層コミュニケーションを図り、深い信頼関係を築き上げていくことが求められています。

言うなれば歯科技工業界が「**社会性**」を求められている時代を迎えたのではないかと思います。

今歯科技工士に求められているのは技術のみでなく「**人間性**」を兼ね備えることが不可欠であり、そんな中、人材を確保し育成していくことが歯科技工業界にとって重要な課題であり、若い世代の歯科技工士の早期離職に歯止めをかけ、歯科医療業界のために活躍できる歯科技工士を守るために、歯科技工士会、企業、歯科技工士学校が連携を強化し、協力し合い、助け合うことで問題を改善できるのではないのでしょうか？

そこで、今までの歯科技工士として 21 年間の経験を生かして、若い世代や現場復帰する歯科技工士に「臨床のコツ」や CAD/CAM などの操作、並びに歯冠形態の回復のための歯型彫刻の実習を行いたいと考えております。